

事務事業名 市営鷺田川周辺治水対策事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1985

施策：	20	防災・減災対策の推進	財務コード	01070301-04-820
基本事業：	04	国土強靱化対策の推進	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	床上浸水件数 浸水対策に関する満足度		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和06年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市営鷺田川の周辺住民			近年の集中豪雨における、市営鷺田川周辺の浸水・冠水被害状況を鑑み、被害軽減のための治水対策を行う。 令和6年度 治水対策検討業務委託 令和7年度以降 治水対策工事						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			治水機能を強化し、浸水・冠水被害の軽減を図る。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
浸水対策に関する満足度(市民アンケート)		%	83.5	86.5					84.3
5. コスト									
事業費		計	千円	0	6,490	88,571	10,014		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		14,750	0		
		地方債	千円	0		52,300	6,200		
		その他 一般	千円	0	6,490	10,761	3,814		
正職員人工数		人工		0.6	1				
正職員人件費		千円		4,814	8,381				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	11,304	96,952	10,014			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない (停滞・低下)	令和6年度より事業に着手。 令和6年度は、業務委託を発注し治水対策検討業務を行った。 令和7年度は、区域内の浸水解析を行うとともに、河川や調整機能を持つため池の浚渫を行う。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
近年の集中豪雨における、市営鷺田川周辺の浸水・冠水被害軽減を図るため。				備考・特記事項 or 進行管理欄					